



アカマツ カズコ

赤松 佳珠子



所属

株式会社シーラカンズアンドアソシエイツ・代表取締役
法政大学デザイン工学部・教授

略歴

1990年日本女子大学家政学部住居学科卒業後、シーラカンズ（のちのC+A、CAt）に加わる。2002年よりパートナー。2013年より法政大学デザイン工学部准教授、2016年より同教授。現在、CAtパートナー、法政大学教授、早稲田大学芸術学校非常勤講師。また、長野スクールデザインプロジェクト（NSDプロジェクト）委員長、国土交通省・社会資本整備審議会委員を務める。

主な作品に、流山市立おおたかの森小中学校（2015年）、山元町役場（2019年）、共愛学園前橋国際大学5号館（2021年）、土生公民館（2021年）など。渋谷ストリーム（2019年）のデザインアーキテクトを務める。

主な受賞に、2016年日本建築学会賞（作品）、日本建築家協会賞、第26回村野藤吾賞など。

アドバイザーとしての専門分野

建築計画・意匠設計（柔軟で創造的な学習空間・地域に開かれた学校や複合施設としての学校の計画）/
省庁・地方行政が主催する委員会委員及び設計プロポーザル委員など

これまでの主な学校支援・助言実績

建築意匠設計者として、千葉市立打瀬小学校（1995年）より現在まで、小学校、中学校、インターナショナルスクール、高等学校、大学、小中学校地域施設の複合施設、学校寮施設等、多様な教育施設的设计・監理を国内外で手掛けている。

設計期間での取り組みとして、建物使用者である学校教職員・学生とのワークショップを実施し、設計にワークショップ結果を反映できるよう努め、また竣工後も、千葉市立美浜打瀬小学校（2006年）では、空間を学習に活かすことを目的として、継続的に教職員と研究者の協働・連携活動を試行している「オープンスクール研究会」へ、建物設計者としてアドバイザー参加をしている。

建築計画・設計の実務では、流山市立おおたかの森小・中学校・おおたかの森センター・こども図書館（2015年）の設計や立川市立第一小学校・柴崎学習館・柴崎学童保育所（2014年）のマスタープラン（基本計画）作成段階からのプロジェクト参画など、公立小学校の複合化プロジェクトの経験や、その他、公立・私立を含む多種学校建築の設計・監理の実績から、「NSD（長野スクールデザイン）プロジェクト」（長野県教育委員会）、「国土交通省・社会資本整備審議会委員」をはじめ自治体・公官庁等のアドバイザー・講演会等でのアドバイス業務に従事している。

対応可能学校種

小学校、中学校、高等学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校、幼稚園、学童保育所、インターナショナルスクール、大学等